

患者さんへ

「局所進行性膵癌に対する S-1 併用化学放射線治療における高齢者の副作用調査と薬剤師の介入に関する研究」について

神戸低侵襲がん医療センター（以下当院とします）薬剤部では、当院で局所進行性膵癌に対する治療法の一つとして S-1（ティーエスワン配合カプセル）併用放射線化学療法（以下本治療とします）を実施された患者さんを対象に副作用の強さや予定された治療をどの程度実施出来たか、治療の効果などを調査し、特に高齢者とそれ以外の患者さんでこれらの項目に違いがないかを検討しております。また、合わせて薬剤師が対象となる患者さんの治療について、提案したことなどを調査し、このような治療における薬剤師の役割についても検討したいと考えております。この研究では、本治療法を選択された 20 歳以上の患者さんに対して副作用の発現率、治療完遂率、治療感度について検証するものであり、新規に患者さんへお願いする事はありません。

この調査研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[\[問い合わせ窓口\]](#)までご連絡ください。

[研究概要]

局所進行性膵癌に対する治療は本邦では抗がん剤と放射線療法を組み合わせた治療が（化学放射線療法）選択肢の 1 つとされております。当院でも化学放射線療法として本治療を実施しております。しかし、高齢者における副作用の発現に関しては報告がまだ少なく、その副作用の発現が予定された治療の実施率や治療の効果にどのような影響を与えるのか不明な点が多いのが現状です。

そこで、本研究では、局所進行性膵癌に対して本治療を初回治療で行う患者さんに関して、副作用の強さや治療の実施率、治療効果を検証し、高齢者の患者さんに対する本治療の安全性と有効性を調査する事といたしました。また、薬剤師の副作用発現時の介入内容を調査し、薬剤師の介入点を明確にすることも考えております。

本調査は、すでに実施された過去の記録を調査、検証するものであり、新規に患者さんに何かをお願いする事はありません。

[取り扱うデータ]

対象となった患者さんの S-1 の投与量と、放射線の照射量、および予定された治療の実施

率、嘔気、下痢などの各種副作用の発現状況、白血球や赤血球、血小板の状況などのデータと副作用発現時における薬剤師の介入内容とその結果を電子カルテなどから抽出し解析いたします。

【個人情報保護の方法】

個人情報、データ等は、正確に尚且つ検証が可能なように記録・保管します。登録患者の同定や照会は、主に登録時に定められた症例登録番号を用いて行われ、患者名など第三者が直接患者を識別できる情報が本試験のデータベースに登録されることはありません。

【研究参加による利益・不利益】

利益・・・本調査に参加いただいた患者さん個人には特に利益と考えられるようなことはありませんが、本研究の成果により、今後の本治療を行うがん患者がより安全に治療を受けることが出来る可能性があります。

不利益・・・診療記録からのデータ抽出のみのため、特にありません。

【研究参加の取り止めについて】

いつでも可能です。参加を辞退されたい場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。

【研究責任者】

神戸低侵襲がん医療センター 薬剤部 金剛 圭佑
連絡先：078-304-4021

【問い合わせ窓口】

神戸低侵襲がん医療センター 薬剤部 金剛 圭佑
連絡先：078-304-4021